

## 「農林漁業体験を通じた食と農への理解の拡大」に向けた意見交換会

1. 日 時：平成22年3月7日（日）11：15～12：00
2. 場 所：那珂川町商工会会議室（那珂川町）
3. 参加者：那珂川町役場  
          斎藤主査  
          那珂川町里山学校協議会  
          仲野谷  
          金子商店  
          金子店長  
          西部営農集団  
          岩村代表  
          栃木農政事務所 消費生活課  
          小林農政業務管理官
4. テーマ：「大豆の学校」の反省、課題、今後の取組等について
5. 意見交換会

栃木農政事務所では、地方公共団体や農業団体等と連携し、「教育ファーム」の指導者となる農林漁業者への周知方法、「教育ファーム」の推進方策についての意見交換会を開催した。

栃木農政事務所として本年度に「農業体験」の取組を支援した「那珂川町里山学校協議会」の「大豆の学校」の取組の反省、課題、今後の取組について関係機関、農業団体、生産者と意見交換を行った。

### 意見交換概要

【那珂川町里山学校協議会】おかげさまで、本日の味噌造りをもって本年度予定した大豆の学校は修了となった。皆さんの御協力に感謝します。新聞等への記事掲載など一定の成果をアピールできたと思う。ただ、残念なのは6月に予定していた種蒔きが大雨のため中止となってしまった。天候に左右される活動なのでやむを得ないが、今後の課題だと思う。

【西部営農集団】各関係機関より協力をしていただき、「米・大豆の農業体験」を行った。参加者からは好評で「とても楽しかった。貴重な体験ができた。」などの感想をいただいた。

また、地元の農産物の PR だけでなく温泉施設や道の駅の利用についても参加者に知ってもらうことができた。

【金子商店】道の駅で味噌を販売している。今日の体験で、地元の商品を知ってもらうことができた。味噌の作り方は知らない人も多い。日本の伝統食を理解するため連携していきたい。

【那珂川町里山学校協議会】今年度は農政事務所さんにも協力頂いた。参加者も昨年より増えた。特に町外の参加者の募集には、私たちでは限界がある。引き続き協力をお願いします。

【栃木農政事務所】次年度の行動計画は決まっていないが、引き続き協力出来るよう考えている。どこまでの支援が可能か、今後詳細は詰めていく。私どもとしては、参加者が「食」について、改めて考える場を提供頂きたい。人は食べ物を育て、その食べ物に育てられることを知ってもらうことが大切だと思う。

【那珂川町役場】予算面での話ですが、先般、国で実施された事業仕分けで「農山漁村地域力発掘支援モデル事業」が廃止され、里山学校協議会に交付していた予算は今年度限りになります。町としては事業の必要性を理解していますので、形は変わるかもしれませんが、補助は行っていきます。

【西部営農集団】予算の話は仕方がない。続けていくことが大切であり、那珂川町の産業を守って行かなくてはならない。子供たちの笑顔は、私たちにとっても、やりがいに繋がる。引き続き、支援をお願いします。

【栃木農政事務所】今後どのように進めていくかが大切である。事務所としては、引き続き関係機関と連絡を取り合って支援する予定。課題はあるが、この意見交換の場を大切にし農政事務所としての役割を検証していきたい。